

第34回泌尿器科漢方研究会学術集会

会長： 笈善行(香川大学医学部泌尿器科学教室)

会期： 2017/6/17 ~

会場： コクヨホール(東京都)

## 一般講演 I

座長： 原三信病院 武井 実根雄

### 3. 高齢女性膀胱炎症状に対する猪苓湯 または猪苓湯合四物湯の効果について

独立行政法人国立病院機構神戸医療センター 泌尿器科  
大岡 均至

**【目的】** 高齢女性の急性単純性膀胱炎に対する、CPDX-PR 単独投与に加え猪苓湯、または猪苓湯合四物湯投与の臨床効果を検討する。

**【対象と方法】** 同意を得た 150 症例を以下の 3 群に振り分けた。1) ; CPDX-PR100mg、朝・夕 2 回、1 週間投与 (A)、2) ; A に加え猪苓湯 4 週間投与 (B)、3) ; A に加え猪苓湯合四物湯 4 週間投与 (C)。検討項目は培養 (初診時)、治療開始前、1・4・8 週間後の自覚症状の変化 (頻尿、尿意切迫感、排尿時痛等) と他覚所見 (検尿所見、血虚スコア、Hb.)。

**【結果】** 全菌株が CPDX-PR に感受性で、3 群間の自覚症状、他覚所見の推移に有意差は認めなかった。自覚症状改善率では、1 週後 ; 88.0%, 82.0%, 96.0% (A, B, C, A vs. C :  $p=0.0001$ )、4 週後 ; 98.0%, 100.0%, 100.0%、8 週後 ; 80.0%, 76.0%, 92.0% (A vs. C :  $p=0.0024$ )、他覚所見改善率は、1 週後 ; 76.0%, 82.0%, 88.0% (A vs. C :  $p=0.0049$ )、4 週後 ; 82.0%, 86.0%, 94.0%、8 週後 ; 76.0%, 76.0%, 86.0% (A vs. C :  $p=0.0024$ )。血虚スコアの変化は群間で有意 ( $p=0.0001$ )、治療前に血虚スコア 30 点以上の症例は 42.0%, 38.0%, 64.0%、8 週間後は 22.0%, 24.0%, 6.0% (chi square ; A vs. C ;  $p=0.043$ , Odds ; 4.42, B vs. C ;  $p=0.025$ , Odds ; 4.95)。Hb の変化は群間で有意 ( $p=0.0001$ )、8 週後 Hb が改善した症例は 44.0%, 50.0%, 90.0%、(chi square ; A vs. C ;  $p<0.0001$ , Odds ; 11.45, B vs. C ;  $p=0.0001$ , Odds ; 9.00) であった。

**【考察】** 抗菌薬単独投与と比して特に猪苓湯合四物湯の急性期の併用効果、血虚や Hb. の改善効果、急性膀胱炎後の再発防止効果等が示された。他方、猪苓湯ではその効果が認められなかった。両方剤の使用目標を区別し、適切に処方すべきである。